参考資料3

エスプロカルブの野生ハナバチ類に係る公表文献検索結果

エスプロカルブの野生ハナバチ類への毒性に関して、再評価における公表文献の提出について(令和3年10月1日付け3消安第3460号農林水産省消費・安全局長通知)に基づき、申請者から公表文献の収集結果報告書が提出された。

提出された報告書に基づき確認したところ、野生ハナバチ類登録基準設定に利用可能な文献は該当しなかった。

有効成分名:エスプロカルブ

データベース名: ①Web of Science

②J-STAGE

検索対象期間: ①2006年9月30日~2021年12月31日

②2006年1月 1日~2021年12月31日

検索ワード:エスプロカルブの公表文献報告書参照

野生ハナバチ類登録基準設定に利用できる文献数

(https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/saihyoka/attach/pdf/saihyouka_a-18.pdf)
(https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/saihyoka/attach/pdf/saihyouka_a-19.pdf)

(https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/saihyoka/attach/pdf/saihyouka_a-19.pdf)		
文献 検索	「生活環境動植物及び家畜に対する毒性に関する分野」に該当する文 献数	7
	適合性評価第1段階 【表題と概要に基づく適合性の有無の評価】 明らかに目的としない文献の除外	
適合性評価 第1段階 結果	「適合性なし」以外の文献数	6
	適合性評価第2段階 【全文に基づく適合性の有無の評価】 評価の目的と適合しない文献の除外	
適合性評価 第 2 段階 結果	「適合性あり」の文献数	3
	【適合性の分類】 分類基準を設定して全文をレビューし、評価目的への適合性を a、b、c の 3 つの区分に分類 区分 a: 基準設定に利用可能と判断される文献 区分 b: 基準設定の際に補足データとして利用可能と判断される文献 区分 c: a 又は b に分類されない文献	
適合性の 分類結果	「区分a」及び「区分b」に分類された文献数	a b 0 1
	試験生物として野生ハナバチ類 (wild bee、Apis cerana japonica、bumble bee ているかどうか	等)を用い

b